子ども音楽新聞

2011年12月 第19刊

東日本大震災復興支援プロジェクト

「第九」チャリティ・コンサート 2011

～届け！子どもたちの想い～

「第九」

小中高生対象！

12月23日（金）19：00～
東京オペラシティ

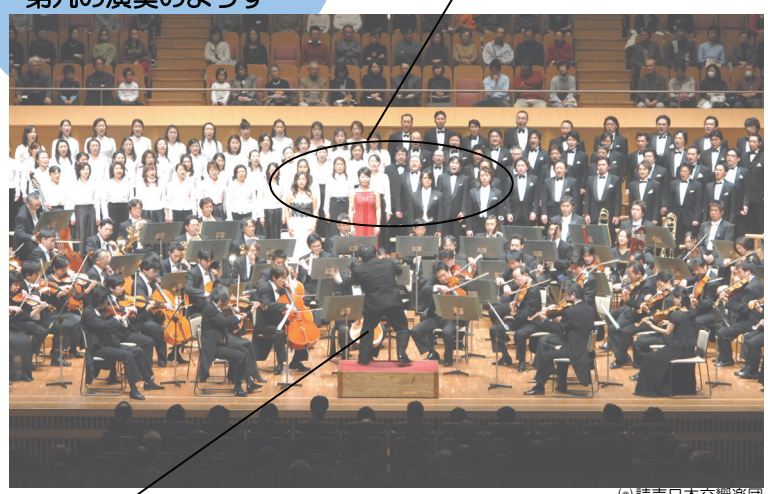
音楽でみんなが一つになれる曲

第九とは？

『第九（だいく）』とは、ベートーヴェンが1824年に作った最後の交響曲です。正式な題名は「交響曲 第9番 ニ短調 作品125〈合唱付〉」で、全楽章の演奏時間は約75分におよびます。「歓喜の『歌』」として有名ですが、『歌』は最終第4楽章だけ。曲が始まって約40分すぎたところから第4楽章が始まります。4人のソリスト（ソプラノ・アルト・テノール・バリトン）と合唱団が一体となって歌います。生命感、躍動感に満ちあふれたすばらしい楽章です。

なぜ年末に演奏されるの？

「年末といえば『第九』」とされていますが、1ヶ月の間にあちこちで演奏会があるのは日本だけです。この国で年末に『第九』が演奏され始めたのは、昭和40年ごろと言われています。きっかけは、とあるオーケストラの年末公演。『第九』を演目に入れたところ大好評で、チケットも完売。そして、次々とほかの楽団も年末の演目に取り入れるようになりました。今年はなんと、首都圏で約85公演も演奏されます！



(c)読売日本交響楽団

世界中で愛されているベートーヴェンの『第九』。心を通わせあう歓びの名曲です。被災した子どもたちに歌声と、ともに生きている喜びをとどけよう！チケット収入の一部と公演当日の募金は、被災した子どもたちを支援するための活動に役立てられます。みなさんも、ぜひチャリティ活動に参加してください。

ベートーヴェンってどんなひと？

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770-1827）は、日本でもっとも有名なクラシック音楽の作曲家の一人です。彼は、ドイツの小さな田舎町で生まれ、厳しい音楽教育を受けて育ちました。10才くらいの頃には際立った才能を発揮。ピアノ演奏にもすぐれ、「第二のモーツァルトになるだろう」と絶賛されたそうです。

しかし、20才代後半、ベートーヴェンは病気により、耳が聴こえなくなってしまいます。音楽家生命の危機であり、実際に、彼は自ら死を選ぶことも考えました。

しかし、ベートーヴェンは激しい失望の中、病気に負けない強い意志をもちつづけ、その後もたくさんの素晴らしい曲を世に送り出し続けたのです。『第九』も耳が聴こえなくなってからの作品です。

指揮者・下野さんへ質問コーナー

18刊で募集したみなさんからの質問に、下野さんが答えてくれました！

「第九」は、今までに何回くらい指揮したことがありますか？

今回の12月23日で36回目になります。

ソリスト4人を後ろの合唱の前に立たせるのと、オケ中に立たせるのとではどう違うのですか。音的にも。

これは、指揮者によって意見が違うと思いますが、私は、合唱の前に立って貰います。第九のソロは、合唱団の代表というイメージで、歌って貰います。音的には、指揮者の前の方が、分離するのでしょうが、素晴らしい歌手は、どこで歌っても声が良く通りますから、問題は無いと考えています。

下野さんが今まで「第九」を振った中で、何か思い出深い公演はありましたか？

全てが素敵な時間でしたが、一番最初に指揮をさせて頂いた1996年12月8日、所沢フィルハーモニー管弦楽団での演奏は、やはり忘れられないと思います。泣きながら指揮をしました。恥ずかしい（笑）。26才の時です。

公演前にCDを聴いて予習したいのですが、おすすめのCDはありますか？（注）

うーん、難しい質問です。子供の頃、良く聴いていたのは、カール・ベーム指揮ウィーン・フィルの演奏です。今、聴くと遅いなぁなんて思いますが、その懐の深い演奏は、やはり素晴らしいと思います。

（注）CDの大きさ（直径12㎝）と収録時間約75分は、「第九」一曲が入る規格になったいきさつがあります。

(c)読売日本交響楽団
撮影＝浦野俊之

「第九」の難しいところや、「ここは見て！聴いて！」という注目ポイントはどこですか？

全部、難しいです!!そして、全部素晴らしいです。注目ポイントは、全部です。

小中高生対象　東日本大震災復興支援プロジェクト
「第九」チャリティ・コンサート2011
～届け！子どもたちの想い～

■12月23日（金・祝）19：00開演　東京オペラシティ（初台駅より直結）
■出演者：下野竜也（指揮）／井上圭子（オルガン）／木下美穂子（ソプラノ）／林 美智子（メゾ・ソプラノ）／高橋 淳（テノール）／与那城 敬（バリトン）／新国立劇場合唱団（合唱指揮：三澤洋史）／読売日本交響楽団
■曲目：バッハ「主よ、人の望みの喜びよ」《オルガン・ソロ》
ベートーヴェン 交響曲第9番＜合唱付＞
■料金：【全席指定・税込】
〔小・中・高校生〕S￥3,000 A￥2,000 B￥1,000
〔小・中学生の保護者〕S￥8,000 A￥6,000 B￥4,000
※未就学児、大人のみの入場不可
※当日は学生証または年齢を証明できるものを提示
■主催・問い合わせ・申し込み：
Sony Music Foundation 03-3261-9933（平日10:00-18:00）
■寄付先：リスタート ジャパン ファンド

東京オペラシティのパイプオルガン

(c)武藤隆之

子ども音楽新聞

2011年12月　第19刊

鼓童(KODO)とは、人間にとって基本的なリズムである心臓の鼓動から音をとった名前で、大太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音をイメージしています。そして「童」の文字には、子どものように何ものにもとらわれることなく無心に太鼓を叩いていきたいという願いが込められています。

公演迫る!!

鼓童

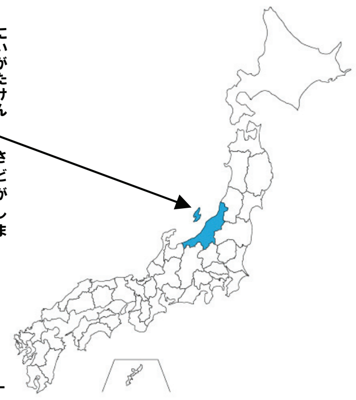
12/14(水)
こどもの城　青山劇場

鼓童結成30周年記念　ワン・アース・ツアー2011特別企画
11時開演【完売】 Concert for KIDS ～0才からの鼓童～
17時開演【発売中】 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズVol.8

鼓童とは

鼓童は、日本の太鼓の演奏を中心とした舞台で、日本や世界各地を公演しながら旅をしている音楽芸能グループです。日本海にある島・新潟県の佐渡島に鼓童が活動する本拠地「鼓童村」があり、そこで伝統的な音楽や芸能をもとにした音楽や踊りなどを創っています。鼓童の舞台に立つ人は総勢25人(男性18人、女性7人)。このほかに舞台を支えるスタッフが約30人います。

佐渡の風景



鼓童の舞台では、どんなことをするの？

鼓童の舞台は、大小様々な太鼓とたくさんの演奏者が登場します。大編成の太鼓アンサンブルや、体全体を使ったパフォーマンスなどがあり、とてもエネルギッシュです。なかにはとても静かな太鼓の演奏もあります。このほかに、笛や三味線、胡弓や箏、鉦などの邦楽器も演奏します。また唄や踊りもあります。

舞台に登場する太鼓で最も大きなものは、たたく部分の直径が約120cmあり、重さが300キロもあります。この大きな木の胴を響かせた「ドォン」という音が、まるで会場全体が太鼓の中に入っているかのように振動します。耳で音を聞くというよりも体全体で響きを感じることができます。

一番大きな太鼓！

「太鼓」ってどんな楽器・・・？

生きものの生命をいただいて作られた楽器

太鼓をはじめ楽器の中には、木や動物など自然界の生きものの生命をいただいて作られたものがあります。太鼓の中には、私たちが生まれるずっと昔から生きてきた、樹齢何百年にもなる大木から作られたものもあります。そして太鼓の革は、かつて私たちと同じように生きていた動物たちのものです。生きものの生命を無駄にしないように、大切に扱い、心を込めて演奏しています。

「太鼓」は昔から感謝や祈りとともにありました

太鼓は、昔から自然に感謝したり、神様にお祈りしたりするときに使われてきました。作物が豊かに実った時、日照りや大雨に苦しんだ時、人々は自然の恵みへの感謝や恐れの気持ちを、太鼓をたたいたり踊ったりして表しました。今でも、太鼓は自然や神様とつながるための大切な道具であり、儀式やお祭りなどでは欠かせないものです。

太鼓は誰が叩いてもすぐに音が出ます。
叩く人の気持ちがそのまま音になるのです。
ですから強い音、優しい音、
楽しい音、悲しい音、
いろいろな音（気持ち）が聞こえてきます。
さあ、聞こえてくる太鼓の音はいったいどんな音？
耳を澄ませて、ときには踊って、
太鼓で楽しい時間を私たちと一緒に過ごしませんか。

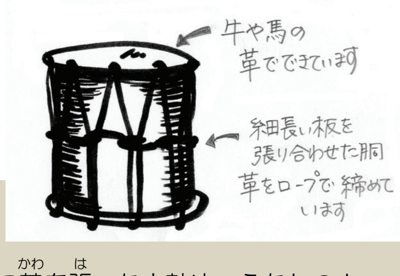
「太鼓」の音には不思議なチカラがある

太鼓の音を聞くと、ウキウキワクワクしたり、元気が湧いてきます。涙が出てくることもあります。時には大きな音が鳴っていても眠くなることがあります。赤ちゃんが大きな太鼓のそばで、すやすやと気持ちよさそうに眠っていることがあります。この太鼓の音は、お母さんのおなかの中で聞いていた心臓の鼓動に似ているとも言われます。

太鼓の音には、不思議なチカラが宿っています。

長胴太鼓

桶胴太鼓



このほかにも、片側だけに革を張った太鼓や、うちわのような形の鉄の輪に革を張った「団扇太鼓」、動物の毛がついたままの皮を張った太鼓などもあります。

文・写真　鼓童

小中高生はこちらへ！

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ Vol.8
鼓童結成30周年記念　ワン・アース・ツアー2011 特別企画
鼓童 －生命のリズム－

■１２月１４日(水) 17：00開演（16：30開場・休憩有・約100分）　こどもの城 青山劇場（東京・渋谷区）
■料金：【全席指定・税込】〔小・中・高校生〕Ｓ￥2,000　Ａ￥1,500　〔小・中学生の保護者〕Ｓ￥3,500　Ａ￥2,000
※未就学児・大人の方のみの入場は不可。※当日は学生証または年齢を証明できるものを提示。
■主催・問い合わせ・申し込み：Sony Music Foundation 03-3261-9933（平日 10:00-18:00）

発行：財団法人ソニー音楽芸術振興会(Sony Music Foundation)　〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7F　TEL:03-3261-9933(平日 10:00～18:00)
FAX:03-3261-9898　E-mail:smf@sonymusic.co.jp　http://www.smf.or.jp/　発行人：岡 路子　編集：荒生昌彦・竹澤千絵・高堀明日香・酒井絵梨
無断転載複製禁止